

5. 国際交流活動

(1) アジア・太平洋特殊教育国際セミナー

1) 趣 旨

1981年以来、アジア・太平洋地域の特殊教育の発展に資するため、各国ユネスコ国内委員会から推薦された代表者を日本に招聘し、国際セミナーを毎年度開催している。アジア・太平洋地域の特殊教育は、障害があるものも障害がないものも同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することができる共生社会を築き上げるという考え方のもと、各国の現状に応じ、その実践が行われている。

平成17年度は、「知的障害がある子どもの指導の工夫および教育環境の整備－就労をとおした社会への積極的な参加をめざして－」をテーマとして、特に知的な障害がある子どもに対し、就労を通じたより積極的な社会参加をめざし、アジア・太平洋諸国が学校という場でどのような指導の工夫や教育環境の整備を行なっているか、各国の現状について情報交換を行うとともに、課題について協議を行う予定である。

2) 開催テーマ

知的障害がある子どもの指導の工夫および教育環境の整備
－就労をとおした社会への積極的な参加をめざして－

3) 主 催

独立行政法人国立特殊教育総合研究所
日本ユネスコ国内委員会

4) 会期・場所

①日程：平成17年11月7日（月）から平成17年11月11日（金）

②会場：国立特殊教育総合研究所

5) 参加国・代表者

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、韓国、スリランカ、タイの14カ国とする。

代表者は、参加国のユネスコ国内委員会により推薦された先導的立場にある実践者、研究者等とする。

6) 参加者

盲・聾・養護学校、特殊学級、通級指導教室、幼・小・中・高等学校教員及び都道府県教育委員会の指導主事等、特殊教育の研究者、医療・福祉関係者、当事者、保護者、学生、留学生、その他本セミナーに関心のある者

7) 実施内容

基調講演、各国からの報告、総括討議、見学

各国からの報告は、知的障害がある子どもの指導の工夫および教育環境の整備－就労をとおした社会への積極的な参加をめざして－に関する教育実践、研究に関するものとする。

(2) 日韓特殊教育セミナー

平成7年11月に締結した交流協定にもとづき、平成12年度から韓国国立特殊教育院との特殊教育セミナーを日韓相互で開催している。平成17年度は、韓国国立特殊教育院において第6回日韓特殊教育セミナーを開催する予定である。

①日 程：平成18年2月頃

②会 場：韓国国立特殊教育院

③テーマ：検討中

(3) NISEニューズレターの刊行

当研究所の情報やアジア・太平洋特殊教育国際セミナーの参加者による投稿を載せた NISE ニューズレターを年間2回刊行する。

(4) 世界の特殊教育の刊行

国際セミナー関連情報及び文部科学省在外研究員や科学研究費補助金などにもとづき海外の特殊教育の実情や研究動向などを調査した報告を「世界の特殊教育（XX）」としてとりまとめ、刊行する。